

「翔^{はばたく}キラキラえがおの高倉っ子」の育成を目指して

～学校・家庭・地域・大学の連携～

1 学校・地域の概要

高倉小学校は、平成5年4月高倉東小学校と高倉西小学校の一次統合を経て、平成7年4月に統合開校した。5校に加え、校区に御池通以南の城巽・初音の2学区を含むため、5校7学区が集まってできた小学校である。統合した5つの小学校は、いずれも明治2年



(1868)全国に先がけて町衆の力によって「番組小学校」として開校した歴史と伝統を誇る学校であり、明治以来、学区のシンボルとして地域の方々から愛され親しまれてきた。校区は、東は鴨川、西は堀川通、南は四条通、北は御池通で囲まれた範囲であり、京都市の文化と産業の中心地である。校区の中央、高倉校の近くには、華道発祥の地「六角堂」がある。また、校区を北から南に走る道路として、しっとりとした京情緒がただよう先斗町通、市内の代表的な繁華街である河原町通や、修学旅行生で賑わう新京極通、銀行をはじめ金融機関が集まっている烏丸通、京町屋の風情が残る新町通など、5校7学区に広がった本校区ならではの様相がある。

高倉校の子どもたちは、このように歴史的・文化的価値に富む7学区を一挙に校区とし、限りなく魅力的な地域を学習と生活の本拠とすることができるようになったのである。

2 新しい学校運営の在り方

「スマイル21プラン委員会」は、子どもたち一人一人が「どこでも、いつでも、やさしさ・たくましさ・かしこさ」を働かすことができる子どもとして成長することを願い立ち上げたものである。学校・家庭・地域がどのような活動を推進すれば目指す子ども像を実現できるのかを協議するとともに、具体的な取組を計画的に進めている。なお、「スマイル21プラン委員会」の名称は、本校教育目標である「翔^{はばたく}キラキラえがおの高倉っ子」からきている。私たちは、保護者・地域の方々とともに、子どもの幸せにつながる21世紀の教育プランを京都から発信し、これからの時代にふさわしい学校づくりについて提言できる役割を果たしたいと考え、次の3点を主なねらいとして取り組んでいる。

1 学校と地域の連携

学校における地域人材の活用はもとより、学校の教育課程編成を含めた教育活動についての意見交換や評価を行いながら、学校運営へ積極的に参画する学校運営協議会の設置など、学校と地域の連携を主とする研究を実施する。

2 校種間連携の取組

校種間での子どもたちの交流や、授業交流などを通して、カリキュラム編成を含めた積極的な校種間連携を図る。

3 学校の裁量権の拡大を生かした取組

教育委員会と連携し、人事・予算及び教育課程編成について、学校の裁量権の拡大を主とした研究を実施する。

これらのねらいを実現するために「スマイル21プラン委員会」は、「教育課程に関する部会」・「学習指導に関する部会」・「学校運営の在り方に関する部会」の3部会に、その3部会をさらに7委員会に分けて活動している。7委員会の取組は以下の通りである。

教育課程に関する部会

「教材開発・教材研究推進委員会」のねらいと活動

第1委員会は教材開発・教材研究推進委員会と呼ばれ、教育目標に掲げる「キラキラえがおの高倉っ子」が育つように、教育課程全般の検討と「魅力ある教育」を推進する支援の在り方について協議を重ねている。特に、地域教材を扱う教科等においては、メンバーの方々に地域の様子や人材についてのご意見を多くいただき、授業に生かしている。



生け花学習

- (1) 地域の達人の発掘と達人マップのデジタル化
- (2) 地域素材の教材づくり

「幼小中連携活動推進委員会」のねらいと活動

第2委員会は当初、健康体力・奉仕的な活動推進委員会としてであったが、小中連携活動推進委員会に変更し、京都御池中学校と御所南小学校・中京もえぎ幼稚園の児童・生徒・園児との連携の在り方について協議している。また、昨年度より小中連携のカリキュラムづくりについても検討している。現在、数学・算数、英語・英語活動、国語、総合学習において内容を検討している。今後、小中教職員が集まり計画的に会議を重ね、教職員同士の交流や授業研究会での交流も計画する等実践を積み重ねる予定である。

(1) 小小中の連携活動

地域清掃活動

小中連携敬老プレゼント作り

オープンスクール

小小連携水泳交流大会

小中連携カリキュラムづくり



中学教員による小学生への授業



小中連携地域清掃

「読書活動推進委員会」のねらいと活動

第3委員会は、読書活動推進委員会と呼ばれ、子どもたち一人一人に読書に対して興味をもたせ、本好きな子どもを育てるための取組を進めている。本校は開校の平成7年度から、コンピュータを使って図書室の蔵書管理と子どもたちの学習支援システムの導入が、PTAと教職員によって進められてきた。さらに、子どもたちの読書活動を推進するための「ワクワクお話し会」・「ブックトーク」も計画的に実施されてきた経緯がある。これらソフトとハードの両面にわたる先を見据えた取組を中心に取り組んでいる。今後は調べ学習などを行う時に探したい本がすぐ選べるように検索機能をより簡単にできるようにキーワードの入力を考えている。

(1) 図書管理システムの導入

2) 「ワクワクお話し会」「おはなしの森」



おはなしの森

学習指導に関する部会

「学習指導方法改善推進委員会」のねらいと活動

第1委員会は、京都大学田中研究室の大学院生の方々との授業の共同研究を通して、子どもの学力の質と教員の授業力の向上を図ることをねらいとしている。また、地域の方や保護者の方に「コミュ

ニティティーチャー」・「スタディアドバイザー」として授業に関わっていただき、子どもたちにとって充実した授業を実践できることを目指している。

- (1) 京都大学大学院教育学研究科田中研究室院生との授業共同研究
- (2) コミュニティティーチャーの支援と協力
- (3) スタディアドバイザーの支援と協力



田中研究室との共同研究

「スマイル講座委員会」のねらいと活動

第2委員会は、広く子育て、またこれからの教育について、世代をこえて語り合える場や講座を設定して、地域から幅広い世代の多くの方に参加してもらい、高倉の子を地域ぐるみで育てていけるような取組を進めている。

- (1) 「大人も子どもも浴衣姿で、祇園祭」
- (2) 「たかくら井戸端会議」
- (3) 「親子ふれあいサッカー教室」
- (4) 「パソコンでオリジナル年賀状をつくろう」



浴衣着付け教室

学校運営の在り方に関する部会

「スポーツ・文化・福祉・安全推進委員会」のねらいと活動

スポーツ・文化・福祉・安全活動推進委員会は、学校の教育活動に専門的な能力をもっておられる保護者・地域の方々に参画していただくことで、児童の活動意欲を高めたり、より深い活動に導いたりすること。また、保護者の方だけでなく地域の方々と子どもたちが関わりをもつ機会を計画することで地域のすばらしさに気付き、地域への愛着や誇りをもてる子を育むことをねらいとして取り組んでいる。さらに昨年度からは、校内では不審者対応の避難訓練を昨年から実施したり、「こども110番のいえ」の増設を行ったりと防犯対策の充実にも取り組んでいる。防犯対策については、継続して取組を進めていこうと考えている。

- (1) スポーツ活動へのコミュニティティーチャーの参画
- (2) 文化活動への児童の積極的な参画（高倉まつり）
- (3) 福祉活動への児童の積極的な参画
- (4) 児童の安全を守るための取組
- (5) 勤労奉仕的な心を育む取組



学校便りを配布する様子



ふれあいまつり

「評価推進委員会」のねらいと活動

学校の教育活動が教育目標達成に向かった取組になっているかを保護者や地域の方々にアンケートを実施することにより、修正や改善を加えることが評価推進委員会のねらいと活動である。また、アンケート結果を分析し公表する中で、広く保護者や地域の方々の声を聞く機会をもつことなどを通して、学校・保護者・地域の双方向の連携を深めることをねらいに活動を広げている。

- (1) 保護者アンケート
- (2) 外部評価(スマイル21プラン委員の方へのアンケート)
- (3) 子どもにこにこアンケート

今後の展開

- 1 社会科や総合学習の単元開発を地域の方と共に進め、特色ある教育課程の一層の充実を目指す。
- 2 各委員会での継続的な取組については、担当委員会を変えていくなど全体的な広がりができるような工夫をしていく。
- 3 学校運営協議会委員による教職員の人事評価に関わる研究を進める。とりわけ、教員の授業評価を的確に行えるように、わかりやすい評価資料を作成する。
- 4 家庭の教育力の向上を図るため、「井戸端会議」充実を図り、若い世代とベテラン世代が気軽に子育てについて話し合える場を設定していく。
- 5 各委員会の横へのつながりを強くするために、PTA「高倉まつり」でブースを担当し各委員会の取組を紹介する場の設定など一斉に活動する方法についても検討していきたい。